



国際会長 (IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

“Let Us Walk in the Light—Together” 「ともに、光の中を歩もう」

“Fellowship across the Border” 「国境なき友情」

会長 舟田 正夫
副会長 古賀 健一郎
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Respect Y's Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

「広げよう ワイズの仲間」

“Extension Membership & Conservation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」

“Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

横浜クラブ会長 (CP) 舟田 正夫

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
野村 郁雄
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

金子 功

「しかし、私は言うておく。 敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせて下さるからである。」

(マタイによる福音書 5章 44~45 節)

生まれの男性は1348万人いて、その内200万人が戦死している。あの戦争で非戦闘員を含めて312万人の日本人が命を落としているがその7割方が大正世代であり凄く犠牲だ。

生き残った大正生まれの人達は、今度は日本の復興と高度成長のためにがむしゃらに働き、敗戦から立上る原動力となった。世界からエコノミックアニマルと呼ばれてもひるむことなく奇跡の復興を成し遂げた。

戦後73年、成熟した社会で平和を享受しているが、あの戦争で失われた先人の尊い生命の代償が今日を成している事を忘れてはならない。

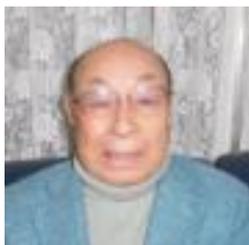
戦争体験者が少なくなった今、戦争の事実を正しく次世代に語り継げなければならない。

最後にあるノンフィクション作家の言葉を記して終わりとする。「戦後の日本人は事実よりもイデオロギーでしか過去を見てこなかった気がする。」

今月のひとこと

「嗚呼 大正世代」

今村 讚



今年が明治百五十年にあたる。この間に日本は日清、日露、日中、太平洋、と四つの大きな戦争をしてきたが1941年から始まった太平洋戦争ほど日本を大きく変えた戦争は無い。

幸か不幸か戦前、戦中、戦後のあの激動の時代に青春時代を過ごした者として大正世代に深く重い感慨がある。

開戦の翌年1942年旧制中学に入学した時、最上級生の五年生が大正の最後の人達であった。云えば兄貴的存在であり又親近感が強い。

太平洋戦争を戦った主力は大正生まれの若者だった。大正

<2017年1月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
17名	メン 12名	75 %	今月分
(功労)	メネット 1名	(メーキャップ	切手 0g
会員1	コメント 0名	2名を含む)	現金 0円
名を	ビジター 0名		年度累計
含む)	ゲスト 0名	前月修正出	切手 0g
	合計 13名	席率 %	現金 0円

＜2月の行事予定＞

強調月間「TOF」

日	曜	時間	行事内容	場所
3	土		部長沖縄公式訪問	沖縄
4	日			
8	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央YMCA
12	月	10:00	横浜YMCA会員大会	湘南とつかYMCA
17	土	13:30	4部合同EMCシンポジウム	東京YMCA山手センター
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央YMCA
23	金	13:30	第5回日本語スピーチコンテスト	中央YMCA

「湘南・沖縄部Y-Y's 合同新年会」

松島 美一

日時：1月13日（土）18:00～20:00

場所：ワークピア横浜

出席者：青木、伊藤メン・メネ、今村、大江、大高、金子、古賀、齋藤、田口、舟田、古田、松島

恒例の湘南・沖縄部Y-Y's 合同新年会。今年は1月13日（土）午後6時より会場をワークピア横浜の宴会場とし、5つの丸テーブルに全員着席のスタイルで行った。



ビジターとして栗本治郎東日本区理事、大川貴久書記、札埜慶一理事事務局長、青木義美同補佐、相磯優子メネット会委員、それに茂木雄横浜YMCA理事と6ワイズメンズクラブから会員四十数名が出席した。

定刻に総合司会、厚木クラブ小松仲史会長のトランペットの音で開会、金子功部長の開会点鐘、ワイズの信条、ワイズソング、部長挨拶及びビジター紹介の後、田口横浜YMCA総主事、栗本東日本区理事、茂木横浜YMCA理事の祝辞があった。

食前の感謝祈禱、乾杯の後、食事と歓談で賀詞交換、親睦の



横浜クラブメンバー



時を持った。

各クラブの会員紹介、抱負と活動の披露、6月の沼津での東日本区大会のアピール等が和気あいの内に行われた。定刻午後8時に佐藤節子次期部長の閉会点鐘で幕を閉じた。

「核なき世界へ」—問われる私たち

古賀 健一郎



先日「核兵器禁止条約と今後の課題」と題しての梅林宏道先生の講演を聴いた。

梅林先生は、長崎大学核兵器廃絶研究センター長、客員教授を務められ、長年核兵器問題に関わってこられた。

日本、韓国、北朝鮮から核兵器をなくし、米国、ロシア、中国が周辺核兵器国として地域の安全を支える。そうした国際法上の制度、「北東アジア非核兵器地帯」の構想を地道に訴え続けられておられる。昨年12月国際NGOのICAN「核兵器廃絶国際キャンペーン」がノーベル平和賞を受賞した。

先月来日した事務局長とのやりとりで、日本政府は我が国を取り巻く安全保障環境は厳しいとして、米国の「核の傘」による安全保障政策を堅持する考えを示した。

事務局長は、「今世界にある1万5000もの核兵器は何の役にも立たなかった。むしろ核開発を煽ってきている。「核の抑止力」が神話にすぎない」と語った。ノーベル平和賞の授賞式での、広島での原爆被爆者サーロー節子さんの演説を思い起こしたい。「恐ろしいまでに傷ついた人々は、血を流し、火傷を負い、黒こげになり、腫れあがっていました。体の一部を失った人たち。肉や皮が体から垂れ下がっている人たち。飛び出た眼球を手を持っている人たち。お腹が裂けて開いている人たち。そこから腸が飛び出て垂れ下がっている人たち。人体の焼ける悪臭が、そこら中に蔓延していました」。

原爆被爆地の長崎で生まれ育った私は、彼女の演説をしつかりと心に刻んだ。焼けただれた被爆者が「水を」とうめき叫びながら浦上川に集まり亡くなった。その浦上川をいつも見つめながら私は高校生活を過ごした。サーロー節子さんは、「抑止論なるものは、軍縮を抑止するものでしかないことはもはや明らかです。今、私たちの光は核兵器禁止条約です。核の恐怖の闇夜からお互いを救い出しましょう。この光は、この一つの尊い世界が生き続けるための私たちの情熱であり、誓いなのです」と演説の最後を締めくくられた。

混迷深める世の中での喧騒の中において、心静かにして核軍縮議論を自分たちでもしっかりと整理して考えたい。核に頼る

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

国のあり方を変えたいと願う世論の声の広がりが必要だ。核なき世界の輪郭を、私たち大人がしっかり描き、そして未来ある子どもたちを『平和な世界』に導いていく責任があると私は思う。

「近況報告」

齋藤 宙也



YMCAの常議員になって分かったことですが、このクラブのブリテンは、常議員会でも配布資料の一つになっています。ワイズ以上に(?)ひとかどの方々に見られるということなので、文責の重さを感じています。年明けは引越しの片付けに追われ、落ち着いたもののまだ

膨大な書籍配架が終わっていません。

今月はほとんど新件も取らずにやっていますが、相変わらず移動が多く、事務所にいないとできない作業が滞りがちです。熊本にいる間は、まだ駆け出しでもあり、公私の団体の役職はなかったのですが、2016年度に某自治体の情報公開審査会委員の末席を汚すようになってから、役職が増え始めました。昨年度は、YMCA常議員と、平塚のある社会福祉法人の評議員。今年度(4月以降)は、また某自治体の情報公開・個人情報保護制度運営審議会委員が内定しました。もし通れば、弁護士会の常議員にもなる可能性があります。

経歴にはくが付くのは良いのですが特別少年院(現:第2種少年院)帰りの経歴をはくとみならず非行少年みたいですが…。

会合ばかりで本業がおろそかになっては本末転倒です。ここまでくると、なかなかパーフェクトな出席というのは厳しくなってくると思います。仕事と会合と休みの調和を改めて考え、実行したいと思います。

第二例会報告

大高 治

日時 : 平成30年1月25日 17:00~19:00
場所 : 中央YMCA 501号室
出席者 : 青木、伊藤、大高、金子、古賀、古田
日本語学科 平岡

協議・確認事項

- 1) 行事予定の確認
- 2) スピーチコンテスト実施要項の確認
 - ① 日時 : 2月23日(金)
スピーチコンテスト 13:30~15:30
交流会 15:40~16:30
 - ② 出場者 : 10名
 - ③ 審査員 : 当クラブ代表者 ; 伊藤、古田
 - ④ 交流会司会 : 大高
 - ⑤ (株)村田製作所からの協賛金の使途 : 交流会費に充当
 - ⑥ PR : YMCA HP、日本語学科のFacebook、チラシに加え中区・西区のタウンページ及び神奈川新聞にアピールして頂く予定。

- 3) 次期役員候補として次の方々を選出
舟田会長の任期満了に伴い、次期役員候補を選出した。
会長(古田)、副会長(古賀、継続)、書記(金子)、会計(伊藤)、地域奉仕(大高、継続)、会員増強(古賀、継続)、国際交流(大江、継続)、ユース(齋藤、継続)、ブリテン(古賀、野村、共に継続)、監事(松島、継続)

<注>

- ① 古田新会長候補は、教会のお働きもあり、日曜日の行事には参加出来ないことを了解した。
- ② より楽しい会にしたい
- ③ 会員の増強を図りたい 等の発言あり。
- 4) 熊本スピリットクラブとのDBCについて
さらなる相互の交流(当クラブからの熊本訪問を含め)を考えながら、少し時間をかけて検討したい。
- 5) 卓話予定の確認
- 6) 会計の中間報告と問題点
 - ① 古田会計より前期会計報告があり、クラブ会計の健全性、記録・管理の適切性を確認
 - ② 来年度の予算はより厳しくなりそうにつき、諸々の検討が必要。
 - ・支出の再検討
 - ・会員を増やす為にも、会費の見直しも検討必要か?(他のクラブの会費平均と比較して)
 - ・お金を出すだけの活動ではなく、体を動かす活動で交流の機会を増やすことも必要ではないか。
- 7) EMC委員会の活動
 - ・クラブ数を増やすため、湘南・沖縄部の活動をDVD化する計画がある。その為DVD編集委員を募っていることの報告あり。
- 8) 3月号ブリテンの分担確認

計報

高杉治興功労会員が、2月2日天に召されました。享年95歳(満94歳)。謹んでお知らせいたします。横浜クラブとしての対応は今後協議することになります。高杉さんの略歴は次の通りです。

1952年3月甲府クラブ入会、同年7月横浜クラブ転会
1963年7月日本区書記
1965年7月、76年7月、87年7月、横浜クラブ会長
1980年7月日本区事業主任(YEEP)
1991年7月横浜クラブ60周年記念式典実行委員長
2001年7月横浜クラブ70周年記念式典実行委員長
2001年7月湘南・沖縄部長
2002年9月第15回YVLF実行委員長
2012年4月ワイズ還暦・人生米寿祝会



担当主事 青木 一弘

○【東日本大震災から7年】森健氏講演会 被災地で出会った人びとの今

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

東日本大震災から7年が経過した今、被災地は復興に向けてどのように歩んでいるのでしょうか？東日本大震災の直後から「つなみ 被災地の子ども80人の作文集」(文藝春秋)に



に関する取材を行っている森健氏は、その後も継続して現地の人びとの取材を続けています。被災地で暮らす人びとの今を語ります。是非ご参加ください。

いただきました。YMCAの活動に参加される多くの方に、いつもよいプログラムをご提供し、そして喜んでいただくために、プログラムに携わる私たちスタッフ自身の健康維持・増進も大切です。そのスタッフのための健康づくりに対する取り組みを評価していただきました。私たちは、働く仲間のための「健康づくりプロジェクト」をスタートさせ、運動機会の増加と健康情報の提供に取り組んできました。様々な会議において体を動かす時間を作るなど、運動機会を業務の中に作ってきました。また、職員報に毎月健康運動指導士、保健師、栄養士といった専門職スタッフがコラムを掲載し、健康のための情報提供をしてきました。これからもより良いプログラムをご提供できるように働く仲間の健康づくりに取り組んでいきます。

日時 2018年3月9日(金)

時間 18:30~20:30

会場 横浜中央YMCA

定員 100人(費用:無料)

問い合わせ

電話:045-662-3721

Eメール:kokusai@yokohamaymca.org

担当者:横浜YMCA国際・地域事業(担当:大塚)まで

○横浜YMCA “PINK SHIRT DAY”のお知らせ

2007年、カナダの学校で、ピンクのシャツを着た子どもが、ゲイと言われていじめられました。それを知った、仲間が50枚のピンクシャツを調達し、翌日みんなで学校に着ていきました。また、驚くことにメール等で知った仲間も、ピンクの消しゴムや、ピンク色のモノを身に付けていき、それが高じていじめがなくなりました。

以後、カナダ全土や、世界中でいじめられている子どもに連帯し「いじめ」をなくそうとピンクシャツデーが2月の最終水曜日に行われています。

今年は2月28日(水)がピンクシャツデーです。スタッフ・リーダー一同はピンク色のグッズを身につけて皆さんをお待ちしています。「いじめのない世界をつくろう」という思いにご賛同いただける方は、当日一緒にピンクグッズを身につけましょう。そして、いじめに対するアピールをYMCAと一緒に社会へ発信していきましょう!

○富士山YMCAがアニメに登場します。

現在、マンガ「ゆるキャン△」のアニメが放送されています。(富士山YMCAがアニメ内で登場するのは最終回近くとのことで、3月頃の前定だそうです。)

また、現在Youtube他で公開中の番宣番組では、主役声優が富士山YMCAでキャンプを楽しんでいる様子が見られます。富士山YMCAが「知る人ぞ知る穴場スポット」と紹介されています。是非、ご覧ください。

Youtube →【ゆるキャン△】「花守ゆみり はじめてのキャンプ入門」#3

○横浜YMCAが、横浜健康経営認証事業所として認証されました。

2018年1月、横浜市長公舎にて「横浜健康経営認証」をい

2月例会プログラム

日時:2月8日(木)18:30~20:30

場所:横浜中央YMCA 501号室

司会:金子ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 舟田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . 全員
3. 今月の聖句 金子ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 舟田会長
5. 卓話 「地域ボランティアと海外ボランティア」
シニアボランティア経験を活かす会(SV会)
理事長 政金驍さん
6. ビジネス・報告 舟田会長、他
7. **Happy Birthday**
大高治(16) 青木一弘(21)
8. 閉会点鐘 舟田会長

例会報告:金子ワイズ

3月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
3-4	土日		次期クラブ会長・部役員研修会	東山荘
6	火	19:00	第80回Y-Y協議会	中央YMCA
8	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央YMCA
12	月	10:00~14:30	子ども支援募金チャリティーゴルフ	戸塚カントリー倶楽部
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785